

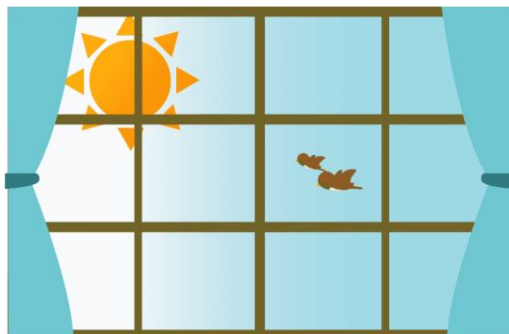
収れん火災に注意！



「収れん火災とは」

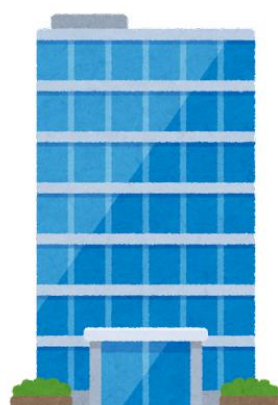
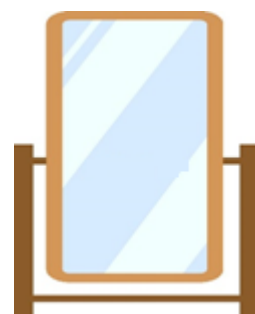
「収れん」とは「一つにまとめる」という意味の言葉です。皆さんも小学校の理科の実験で虫眼鏡を使って光を集めて紙を焦がした経験があるのではないのでしょうか。

あの現象が何らかの理由で意図せずに発生し、火災を引き起こしたものを「収れん火災」と呼びます。



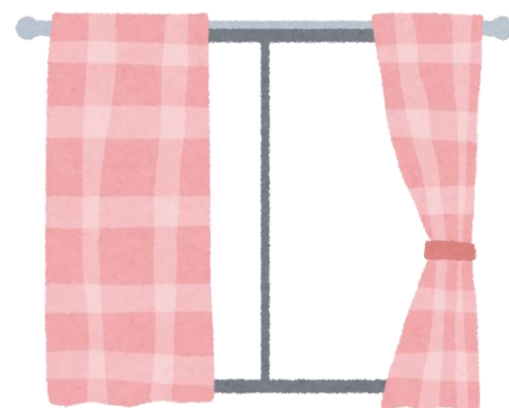
「身近に起こる収れん現象」

光を収れんさせるものは生活環境の中にたくさんあります。凹面鏡や水の入ったペットボトルの他にも、ステンレス製ポウルやミラーガラスを使用したビル、水晶玉や金魚鉢などです。どれも身近な物ばかりで「こんな物も火災の原因になるの？」と驚かれるかと思います。他にも国民生活センターの実験によると、車のアルミホイールでも収れん火災が発生することがわかっています。



「収れん火災を防ぐには」

- ・ 太陽光が差し込むような場所にはレンズの役割になる鏡や花瓶等を置かない。
- ・ 建物周囲には水の入ったペットボトル等を置かない。
- ・ カーテン等で光を遮る。



上記の点に注意し火災を未然に防ぎましょう！！

吉川松伏消防組合消防本部
予防課 予防係
048-982-3919